

令和4年度

収支決算書

令和4年4月1日

～

令和5年3月31日

一般財団法人**省エネルギーセンター**

## 概 況

近時エネルギーを巡っては、昨年2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻等の影響により需給が世界的に不安定となり、我が国においても夏冬における電力需給のひっ迫が懸念され、また燃料や電力等の価格が高騰するなど経済社会に影響が生じています。一方、長期的には気候変動問題に対応するための「カーボンニュートラル」が引き続き最大の課題となっており、我が国も2050年までの実現に向けた対応が「待ったなし」となっています。

これらの課題に対しては、「エネルギー需給の安定化」と「CO2削減」の両立に向け、エネルギーの供給サイドはもとより利用サイドにおいても適切な取り組みが不可欠です。

このためには、本年4月から施行された改正省エネ法等を念頭に、非化石エネルギーへの転換や電気需要の適正化等を強力に進めながら、エネルギー全体の使用を徹底的に合理化していくことが求められます。

当センターといたしましても、このようなニーズを「省エネを中心とするエネルギー利用の最適化」と捉え、国内外における活動を拡充・強化していくこととしています。

かかる方針のもと、令和4年度においても事業計画を踏まえつつ、以下のように政策協力、情報発信、支援サービス、人材育成、国際協力等の活動に注力しました。

### I. エネルギー利用の最適化等に向けた政策への協力

中小企業等においてエネルギー利用の最適化を推進するため、専門家による診断サービス等を提供するとともに、地域において関係機関等との連携を図りました。

また、省エネ法等の円滑な執行や計画的なCO2削減対応への支援等を実施しました。

### II. 省エネ関連情報の発信

「徹底した省エネ」やカーボンニュートラルに向けた産業・業務・家庭等あらゆる分野の活動を支援するため、「省エネ大賞」、総合展示会「ENEX2023」等の媒体を通じて、先進的な製品、技術・ノウハウ、ビジネスモデル、活動事例等について有益な情報を発信しました。

また、Webサイト等を通じ、産業、ビル・家庭等のニーズに即した省エネ情報、節電情報、省エネ法改正情報等を効果的に提供しました。

### III. カーボンニュートラルに向けた支援サービスの提供

カーボンニュートラルを念頭に行う企業等のエネルギー管理活動を支援するため、体制整備や計画策定への助言、ソリューションの提案等を行いました。また、当該活動における中核人材等を育成するため、オンライン等も活用しつつ教育事業や資格認定を実施しました。

#### IV. 省エネ関連国際協力・ビジネス交流の推進

エネルギー需要や温室効果ガスが増大している新興国等においてカーボンニュートラルに向けた活動が促進されるよう、我が国の優れた省エネ・再エネ技術や関連政策・制度を国際協力により効果的に普及しました。

実施に当たっては、官民一体となって設立された「世界省エネルギー等ビジネス推進協議会」が進めるビジネス交流活動と連携しました。

#### V. 国家試験等の円滑な実施

省エネ法に基づくエネルギー管理士、エネルギー管理企画推進者及びエネルギー管理員に係る資格に関し、それぞれ所定の試験・研修・講習をコロナ対策に万全を期しつつ厳正に実施しました。

これら事業の実施に当たり、国からの補助・受託事業についてはその政策意図に沿った実施に努めるとともに、当センター独自事業については新たなニーズ等も踏まえてその充実を図ることを通じて、事業効果の最大化と財務基盤の強化を両立するよう努めました。

また、長引くコロナ禍に対しては、オンライン方式と対面方式を柔軟に活用するなど感染防止と事業運営の円滑化に努めました。

なお、公益法人から移行した一般財団法人として、令和4年度も公益目的支出計画の着実な実行を図りました。

# 収 支 決 算 書

## 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金及び預貯金	102,534,072	255,881,724	△ 153,347,652
未収金	753,759,132	532,581,571	221,177,561
未収利息	1,479,801	1,479,801	0
売掛金	7,552,703	7,856,433	△ 303,730
商品	1,538,011	1,469,806	68,205
製品	5,485,186	9,265,238	△ 3,780,052
仕掛品	15,747,059	76,454,687	△ 60,707,628
貯蔵品	281,494	261,740	19,754
前払金	16,990,582	17,822,649	△ 832,067
<b>流動資産 合計</b>	<b>905,368,040</b>	<b>903,073,649</b>	<b>2,294,391</b>
<b>2. 固定資産</b>			
<b>(1) 基本財産</b>			
投資有価証券	248,876,878	248,803,371	73,507
定期預金	226,123,122	226,196,629	△ 73,507
<b>基本財産 合計</b>	<b>475,000,000</b>	<b>475,000,000</b>	<b>0</b>
<b>(2) 特定資産</b>			
運営強化等積立資産	1,737,171,494	1,731,070,684	6,100,810
退職給付積立資産	131,530,000	163,461,600	△ 31,931,600
<b>特定資産 合計</b>	<b>1,868,701,494</b>	<b>1,894,532,284</b>	<b>△ 25,830,790</b>
<b>(3) その他の固定資産</b>			
造 作	6,021,364	7,126,049	△ 1,104,685
什器備品	394,636	333,440	61,196
機械装置	3,237,075	2,149,162	1,087,913
ソフトウェア	9	959,837	△ 959,828
電話加入権	2,841,592	2,841,592	0
保証金	52,044,306	53,348,576	△ 1,304,270
長期前払費用	1,133,934	1,467,222	△ 333,288
<b>その他の固定資産合計</b>	<b>65,672,916</b>	<b>68,225,878</b>	<b>△ 2,552,962</b>
<b>固定資産 合計</b>	<b>2,409,374,410</b>	<b>2,437,758,162</b>	<b>△ 28,383,752</b>
<b>資産 合計</b>	<b>3,314,742,450</b>	<b>3,340,831,811</b>	<b>△ 26,089,361</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
短期借入金	500,000,000	500,000,000	0
未払金	141,354,282	125,653,897	15,700,385
会費前受金	59,449,010	60,578,570	△ 1,129,560
前受金	12,540,000	26,974,970	△ 14,434,970
預り金	8,535,303	7,964,041	571,262
賞与引当金	9,644,325	10,610,013	△ 965,688
<b>流動負債 合計</b>	<b>731,522,920</b>	<b>731,781,491</b>	<b>△ 258,571</b>
<b>2. 固定負債</b>			
退職給付引当金	131,530,000	163,461,600	△ 31,931,600
<b>固定負債 合計</b>	<b>131,530,000</b>	<b>163,461,600</b>	<b>△ 31,931,600</b>
<b>負債 合計</b>	<b>863,052,920</b>	<b>895,243,091</b>	<b>△ 32,190,171</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1. 指定正味財産</b>			
民間補助金	375,000,000	375,000,000	0
民間寄付金	325,000,000	325,000,000	0
<b>指定正味財産 合計</b>	<b>700,000,000</b>	<b>700,000,000</b>	<b>0</b>
(うち基本財産への充当額)	( 475,000,000 )	( 475,000,000 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 225,000,000 )	( 225,000,000 )	( 0 )
<b>2. 一般正味財産</b>	<b>1,751,689,530</b>	<b>1,745,588,720</b>	<b>6,100,810</b>
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 1,512,171,494 )	( 1,506,070,684 )	( 6,100,810 )
<b>正味財産合計</b>	<b>2,451,689,530</b>	<b>2,445,588,720</b>	<b>6,100,810</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>3,314,742,450</b>	<b>3,340,831,811</b>	<b>△ 26,089,361</b>

注)実施事業資産は、以下のとおりである。

未収金 692,471,997円

# 正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	2,352,513	2,352,513	0
② 特定資産運用益	4,988,890	4,988,890	0
③ 賛助会費	142,873,000	143,900,000	△ 1,027,000
④ 事業収益	586,593,089	598,461,286	△ 11,868,197
試験・講習事業収益	405,638,500	420,670,450	△ 15,031,950
出版事業収益	64,404,297	69,170,719	△ 4,766,422
通信教育・講座等事業収益	48,888,084	45,133,299	3,754,785
その他事業収益	67,662,208	63,486,818	4,175,390
⑤ 受取補助金等収益	1,314,933,425	995,132,462	319,800,963
国庫等補助金収益	456,806,799	368,839,754	87,967,045
受託収益	858,126,626	626,292,708	231,833,918
⑥ 雑収益	7,281	1,009,071	△ 1,001,790
受取利息	7,281	7,996	△ 715
雑収益	0	1,001,075	△ 1,001,075
<b>経常収益計</b>	<b>2,051,748,198</b>	<b>1,745,844,222</b>	<b>305,903,976</b>
(2) 経常費用			
① 事業費	1,951,171,394	1,615,248,536	335,922,858
給与手当等	575,524,982	472,119,602	103,405,380
臨時雇用員費	402,936,609	344,901,411	58,035,198
旅費交通費	94,490,644	24,063,080	70,427,564
機器賃借料	33,069,127	28,632,023	4,437,104
諸謝金	175,763,933	111,564,272	64,199,661
会場費	95,083,426	92,697,866	2,385,560
印刷製本費	54,208,291	62,238,968	△ 8,030,677
外注委託費	149,380,562	144,370,288	5,010,274
その他事業費	370,713,820	334,661,026	36,052,794
② 管理費	94,475,994	94,641,762	△ 165,768
給与手当等	68,755,664	67,544,196	1,211,468
臨時雇用員費	12,728,542	12,808,003	△ 79,461
減価償却費	4,478,804	5,735,109	△ 1,256,305
事務所等賃借料	115,447,269	119,451,781	△ 4,004,512
租税公課	54,641,575	44,462,390	10,179,185
短期借入金利息	99,726	99,726	0
その他事務費	51,687,016	45,157,103	6,529,913
事業費への事務費振替額	△ 213,362,602	△ 200,616,546	△ 12,746,056
<b>経常費用計</b>	<b>2,045,647,388</b>	<b>1,709,890,298</b>	<b>335,757,090</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>6,100,810</b>	<b>35,953,924</b>	<b>△ 29,853,114</b>
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
(2) 経常外費用			
<b>経常外費用計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>6,100,810</b>	<b>35,953,924</b>	<b>△ 29,853,114</b>
<b>一般正味財産期首残高</b>	<b>1,745,588,720</b>	<b>1,709,634,796</b>	<b>35,953,924</b>
<b>一般正味財産期末残高</b>	<b>1,751,689,530</b>	<b>1,745,588,720</b>	<b>6,100,810</b>
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
1. 基本財産運用益			
投資有価証券利息	2,352,513	2,352,513	0
2. 特定資産運用益			
投資有価証券利息	861,855	861,855	0
3. 一般正味財産への振替額	△ 3,214,368	△ 3,214,368	0
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>指定正味財産期首残高</b>	<b>700,000,000</b>	<b>700,000,000</b>	<b>0</b>
<b>指定正味財産期末残高</b>	<b>700,000,000</b>	<b>700,000,000</b>	<b>0</b>
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>2,451,689,530</b>	<b>2,445,588,720</b>	<b>6,100,810</b>

科目	実施事業等会計							その他会計							法人会計	合計	
	継続-1	継続-2	継続-3	継続-4	継続-5	共通	小計	その他-1	その他-2	その他-3	その他-4	その他-5	その他-6	小計			
	産業における省エネ政策推進事業	家庭、地域等における省エネ政策推進事業	国際協力・活動政策の推進事業	省エネ大賞表彰事業	省エネ管理士試験・講習関連調査事業			産業における省エネ政策推進事業	家庭、地域等における省エネ政策推進事業	省エネ関連人材の育成推進事業	省エネ管理士試験・講習事業	国際協力・活動の推進事業	その他事業				
<b>I 一般正味財産増減の部</b>																	
1、経常増減の部																	
(1)経常収益																	
①基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,352,513	2,352,513
②特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,988,890	4,988,890
③賛助会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	142,873,000	142,873,000
④事業収益	11,249,964	0	0	27,376,117	0	0	38,626,081	10,653,908	4,069,600	50,530,852	405,638,500	64,240	77,009,908	547,967,008	0	586,593,089	586,593,089
試験・講習事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	405,638,500	0	0	405,638,500	0	405,638,500	405,638,500
出版事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	64,404,297	64,404,297	0	64,404,297	64,404,297
通信教育・講座等事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48,888,084	0	0	0	48,888,084	0	48,888,084	48,888,084
その他事業収益	11,249,964	0	0	27,376,117	0	0	38,626,081	10,653,908	4,069,600	1,642,768	0	64,240	12,605,611	29,036,127	0	67,662,208	67,662,208
⑤受取補助金等収益	564,953,189	199,157,544	371,040,855	0	0	0	1,135,151,588	49,709,328	34,955,156	18,139,876	0	68,963,677	8,013,800	179,781,837	0	1,314,933,425	1,314,933,425
国庫等補助金収益	455,817,850	0	0	0	0	0	455,817,850	0	988,949	0	0	0	0	988,949	0	456,806,799	456,806,799
受託収益	109,135,339	199,157,544	371,040,855	0	0	0	679,333,738	49,709,328	33,966,207	18,139,876	0	68,963,677	8,013,800	178,792,888	0	858,126,626	858,126,626
⑥雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,281	7,281
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,281	7,281
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>経常収益計</b>	576,203,153	199,157,544	371,040,855	27,376,117	0	0	1,173,777,669	60,363,236	39,024,756	68,670,728	405,638,500	69,027,917	85,023,708	727,748,845	150,221,684	2,051,748,198	2,051,748,198
(2)経常費用																	
①事業費	625,439,958	260,911,628	402,710,133	32,999,134	145,790	0	1,322,206,643	32,091,872	29,576,840	45,739,081	363,124,159	53,576,905	104,855,894	628,964,751	0	1,951,171,394	1,951,171,394
給与手当等	173,098,760	153,586,232	114,793,214	12,818,991	84,153	0	454,381,350	8,624,632	12,253,829	15,109,169	62,253,607	12,148,037	10,754,358	121,143,632	0	575,524,982	575,524,982
臨時雇員費	155,818,254	52,257,411	84,850,285	199,731	0	0	293,125,681	10,018,724	3,458,760	5,829,178	69,721,770	14,143,766	6,638,730	109,810,928	0	402,936,609	402,936,609
旅費交通費	25,232,305	407,440	47,803,306	2,648,581	0	0	76,091,632	1,827,870	183,535	1,658,437	3,124,631	10,613,584	990,955	18,399,012	0	94,490,644	94,490,644
機器賃貸料	2,478,991	0	11,015,397	100,610	53,155	0	13,648,153	222,860	0	421,818	18,175,110	508,377	92,809	19,420,974	0	33,069,127	33,069,127
諸謝金	122,833,590	1,135,750	1,323,801	3,090,430	0	0	128,383,571	860,640	7,361,790	2,346,730	32,149,240	1,052,512	3,609,450	47,380,362	0	175,763,933	175,763,933
会場費	1,330,687	29,420	26,952,525	1,260,665	0	0	29,573,297	0	0	1,434,007	63,212,814	330,000	533,308	65,510,129	0	95,083,426	95,083,426
印刷製本費	8,682,973	0	4,561,104	1,610,400	0	0	14,854,477	0	601,831	1,414,380	25,855,678	467,598	11,014,327	39,353,814	0	54,208,291	54,208,291
外注委託費	18,841,373	5,797,792	49,050,846	810,275	0	0	74,500,286	580,508	100,973	6,333,158	16,276,696	968,000	50,620,941	74,880,276	0	149,380,562	149,380,562
その他事業費	117,123,025	47,697,583	62,359,655	10,459,451	8,482	0	237,648,196	9,956,638	5,616,122	11,192,204	72,354,613	13,345,031	20,601,016	133,065,624	0	370,713,820	370,713,820
②管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	94,475,994	94,475,994
給与手当等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68,755,664	68,755,664
臨時雇員費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12,728,542	12,728,542
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,478,804	4,478,804
事務所等賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	115,447,269	115,447,269
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54,641,575	54,641,575
短期借入金利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	99,726	99,726
その他事務費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51,687,016	51,687,016
事業費への事務費振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 213,362,602	△ 213,362,602
<b>経常費用計</b>	625,439,958	260,911,628	402,710,133	32,999,134	145,790	0	1,322,206,643	32,091,872	29,576,840	45,739,081	363,124,159	53,576,905	104,855,894	628,964,751	94,475,994	2,045,647,388	2,045,647,388
<b>当期経常増減額</b>	△ 49,236,805	△ 61,754,084	△ 31,669,278	△ 5,623,017	△ 145,790	0	△ 148,428,974	28,271,364	9,447,916	22,931,647	42,514,341	15,451,012	△ 19,832,186	98,784,094	55,745,690	6,100,810	6,100,810
2、経常外増減の部																	
(1)経常外収益																	
<b>経常外収益計</b>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(1)経常外費用																	
<b>当期経常外増減額</b>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>当期一般正味財産増減額</b>	△ 49,236,805	△ 61,754,084	△ 31,669,278	△ 5,623,017	△ 145,790	0	△ 148,428,974	28,271,364	9,447,916	22,931,647	42,514,341	15,451,012	△ 19,832,186	98,784,094	55,745,690	6,100,810	6,100,810
<b>一般正味財産期首残高</b>	△ 544,065,378	△ 69,952,791	△ 195,847,985	△ 33,386,662	△ 25,341,453	1,519,032,148	650,437,879	294,455,309	90,103,894	△ 31,187,632	559,994,204	110,397,677	△ 371,736,581	652,026,871	443,123,970	1,745,588,720	1,745,588,720
<b>一般正味財産期末残高</b>	△ 593,302,183	△ 131,706,875	△ 227,517,263	△ 39,009,679	△ 25,487,243	1,519,032,148	502,008,905	322,726,673	99,551,810	△ 8,255,985	602,508,545	125,848,689	△ 391,568,767	750,810,965	498,869,660	1,751,689,530	1,751,689,530
<b>II 指定正味財産増減の部</b>																	
1、基本財産運用益																	
投資有価証券利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,352,513	2,352,513
2、特定資産運用益																	
投資有価証券利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	861,855	861,855
3、一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 3,214,368	△ 3,214,368
<b>当期指定正味財産増減額</b>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>指定正味財産期首残高</b>	0	0	0	0	0	700,000,000	700,000,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	700,000,000
<b>指定正味財産期末残高</b>	0	0	0	0	0	700,000,000	700,000,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	700,000,000
<b>III 正味財産期末残高</b>	△ 593,302,183	△ 131,706,875	△ 227,517,263	△ 39,009,679	△ 25,487,243	2,219,032,148	1,202,008,905	322,726,673	99,551,810	△ 8,255,985	602,508,545	125,848,689	△ 391,568,767	750,810,965	498,869,660	2,451,689,530	2,451,689,530

## 財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

当該事業年度は、「公益法人会計基準(平成20年4月11日(平成21年10月16日改正)内閣府公益認定等委員会)」を採用している。

### 1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的の債券 個別法による償却原価法を採用している。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
①製品、仕掛品 個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）  
②商品、貯蔵品 最終仕入原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）
- (3) 固定資産の減価償却の方法  
①有形固定資産（リース資産を除く）  
イ. 造作 定額法  
ロ. 造作以外の有形固定資産 定率法  
②無形固定資産（リース資産を除く）  
ソフトウェア（自社利用分） 定額法（5年間）  
③リース資産  
所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
自己所有の固定資産に適用する減価償却の方法と同一の方法
- (4) 引当金の計上基準  
①貸倒引当金 債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。  
②賞与引当金 職員への賞与の支払いに備えるため、支給見込額のうち当期に属する額を計上している。  
③退職給付引当金 役員及び職員の退職給付に備えるため、当期末における期末要支給額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理  
税込方式を採用している。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位 : 円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
<b>基本財産</b>				
投資有価証券	248,803,371	73,507	0	248,876,878
定期預金	226,196,629	0	73,507	226,123,122
小 計	475,000,000	73,507	73,507	475,000,000
<b>特定資産</b>				
運営強化等積立資産	1,731,070,684	6,100,810	0	1,737,171,494
退職給付積立資産	163,461,600	0	31,931,600	131,530,000
小 計	1,894,532,284	6,100,810	31,931,600	1,868,701,494
合 計	2,369,532,284	6,174,317	32,005,107	2,343,701,494



### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
<b>基本財産</b>				
投資有価証券	248,876,878	(248,803,371)	(0)	(0)
定期預金	226,123,122	(226,196,629)	(0)	(0)
小 計	475,000,000	(475,000,000)	(0)	(0)
<b>特定資産</b>				
運営強化等積立資産	1,737,171,494	(225,000,000)	(1,512,171,494)	(0)
退職給付積立資産	131,530,000	(0)	(0)	(131,530,000)
小 計	1,868,701,494	(225,000,000)	(1,512,171,494)	(131,530,000)
合 計	2,343,701,494	(700,000,000)	(1,512,171,494)	(131,530,000)

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
造作	28,932,573	22,911,209	6,021,364
什器備品	27,226,159	26,831,523	394,636
機械装置	16,349,432	13,112,357	3,237,075
合 計	72,508,164	62,855,089	9,653,075

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
<b>基本財産</b>			
第8回利付国債(H27.12.22取得)	49,794,689	51,415,000	1,620,311
第267回日本高速道路保有・債務返済機構債券(H28.1.26取得)	99,870,421	102,050,000	2,179,579
第57回地方公共団体金融機構債券(H29.3.14取得)	99,211,768	96,806,400	△ 2,405,368
<b>特定資産</b>			
第519回中部電力社債(H29.2.24取得)	99,705,177	94,290,000	△ 5,415,177
第159回利付国債(H29.3.13取得)	9,927,130	9,868,680	△ 58,450
第78回利付国債(H17.6.16取得)	73,000,000	76,212,000	3,212,000
第78回利付国債(H18.1.18取得)	26,975,377	28,188,000	1,212,623
第8回利付国債(H27.12.21取得)	59,876,329	61,703,040	1,826,711
第237回日本高速道路保有・債務返済機構債券(H28.3.16取得)	211,286,899	205,780,000	△ 5,506,899
第517回東北電力社債(グリーンボンド)(R2.2.27取得)	100,000,000	96,430,000	△ 3,570,000
合 計	829,647,790	822,743,120	△ 6,904,670

※ グリーンボンド：資金用途を環境改善効果のある事業に限定した債券

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
<b>補助事業</b>						
・令和4年度中小企業等に対するエネルギー利用最適化推進事業費補助金	経済産業省	0	455,817,850	455,817,850	0	—
・その他補助事業	福岡県	0	988,949	988,949	0	—
小計		0	456,806,799	456,806,799	0	
<b>受託事業</b>						
・令和4年度エネルギー需給構造高度化対策に関する調査等事業	経済産業省	0	81,257,656	81,257,656	0	—
・令和4年度省エネルギー促進に向けた広報事業	経済産業省	0	27,877,683	27,877,683	0	—
・令和4年度新興国等におけるエネルギー使用合理化等に資する事業	経済産業省	0	371,040,855	371,040,855	0	—
・令和4年度工場・事業場における先進的な脱炭素化取組推進事業に係る制度運営支援委託業務	環境省	0	195,029,072	195,029,072	0	—
・令和4年度環境技術実証事業気候変動対策技術領域実証機関業務	環境省	0	2,896,091	2,896,091	0	—
・その他受託事業	東京都ほか	0	180,025,269	180,025,269	0	—
小計		0	858,126,626	858,126,626	0	
合 計		0	1,314,933,425	1,314,933,425	0	

## 7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息の振替額	2,352,513
特定資産受取利息の振替額	861,855
合 計	3,214,368

## 8. 退職給付関係

### (1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

### (2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

退職給付債務	131,530,000
退職給付引当金	131,530,000

### (3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

勤務費用	24,799,800
退職給付費用	24,799,800

(注)退職給付費用24,799,800円は、事業費の「給与手当等」に17,243,000円、管理費の「給与手当等」に7,556,800円計上している。

### (4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

## 9. 正味財産増減計算書に関する注記

管理費の「事業費への事務費振替額」213,362,602円は、間接部門で発生した事務費のうち、事業費に按分する金額であり、当該按分額は事業費の「その他事業費」に計上されている。  
なお、その内訳は次のとおりである。

実施事業等会計	170,898,737円
その他会計	42,463,865円
合計	213,362,602円

## 10. 資産除去債務に関する注記

当法人は、不動産賃貸借契約に基づき、退去時における原状回復に係る債務を資産除去債務として認識している。  
なお、資産除去債務の負債計上に代えて、不動産賃貸借契約に関する敷金及び保証金の回収が最終的に見込めないと認められる金額を合理的に見積り、そのうち当期の負担に属する金額を費用に計上する方法によっている。

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区 分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	投資有価証券	248,803,371	73,507	0	248,876,878
	定期預金	226,196,629	0	73,507	226,123,122
	基本財産計	475,000,000	73,507	73,507	475,000,000
特定資産	運営強化等積立資産	1,731,070,684	6,100,810	0	1,737,171,494
	退職給付引当資産	163,461,600	0	31,931,600	131,530,000
	特定資産計	1,894,532,284	6,100,810	31,931,600	1,868,701,494

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	10,610,013	9,644,325	10,610,013	0	9,644,325
退職給付引当金	163,461,600	10,151,700	42,083,300	0	131,530,000

**財 産 目 録**

令和5年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		金 額
科 目	摘 要	
<b>I 流動資産</b>		<b>905,368,040</b>
<b>現金及び預貯金</b>		<b>102,534,072</b>
	普通預金	922,175,360
	みずほ銀行	11,502,844
	三井住友銀行	905,130,147
	三菱UFJ銀行	98,117
	各支部	5,444,252
	定期預金	539,656,800
	みずほ銀行	50,083,800
	三井住友銀行	489,573,000
	当座預金	150,583,891
	みずほ銀行	150,583,891
	郵便貯金	4,171,725
	固定資産（基本財産、特定資産）への振替額	△ 1,514,053,704
	基本財産	△ 226,123,122
	運営強化等積立資産	△ 1,156,400,582
	退職給付積立資産	△ 131,530,000
<b>未 収 金</b>		<b>753,759,132</b>
	経済産業省補助収益	196,655,090
	経済産業省受託収益	297,176,194
	環境省受託収益	122,025,163
	その他受託収益	125,152,295
	講習・講座受講料	7,084,730
	PR用品	19,910
	その他未収金	5,645,750
<b>未 収 利 息</b>		1,479,801
<b>商 掛</b>		7,552,703
<b>製 掛</b>		1,538,011
<b>仕 掛</b>		5,485,186
	図書	15,747,059
	雑誌製作費	3,879,625
	次年度プロジェクト対応事業費	11,867,434
<b>貯 蔵 品</b>		281,494
	郵便切手・はがき等	121,294
	収入印紙	13,600
	その他	146,600
<b>前 払 金</b>		16,990,582
	試験会場費他	16,990,582
<b>II 固定資産</b>		<b>2,409,374,410</b>
<b>(1)基本財産</b>		<b>475,000,000</b>
投資有価証券		248,876,878
	公債等	
	日本高速道路債	99,870,421
	国債	49,794,689
	地方公共団体金融機構債	99,211,768
定期預金		226,123,122
	三井住友銀行	
<b>(2)特定資産</b>		<b>1,868,701,494</b>
運営強化等積立資産	1,737,171,494	
退職給付積立資産	131,530,000	
<b>(3)その他の固定資産</b>		<b>65,672,916</b>
造作	事務所間仕切他	6,021,364
什器備品	パソコン他	394,636
機械装置	L A N用通信設備他	3,237,075
ソフトウェア	システムソフト類	9
電話加入権		2,841,592
保証金	事務所借室保証金他	52,044,306
長期前払費用		1,133,934
<b>資 産 合 計</b>		<b>3,314,742,450</b>

(単位：円)

負債の部			
目	摘要	金額	額
<b>I 流動負債</b>			<b>731,522,920</b>
短期借入金	借入先：三井住友銀行 500,000,000	<b>500,000,000</b>	
未払金	補助事業 12,050,659 受託事業 33,875,535 試験・講習事業 22,452,928 出版事業 6,381,880 教育事業 591,792 普及事業 1,144 その他事業費 1,473,546 管理費 32,513,687 旅費・謝金 32,013,111	<b>141,354,282</b>	
会費前受金	令和5年度賛助会費	<b>59,449,010</b>	
前受金	雑誌年間購読料、講座受講料等	<b>12,540,000</b>	
預り金	源泉所得税 6,504,768 社会保険料 182,335 住民税 1,778,300 その他 69,900	<b>8,535,303</b>	
賞与引当金		<b>9,644,325</b>	
<b>II 固定負債</b>			<b>131,530,000</b>
退職給付引当金		<b>131,530,000</b>	
<b>負債合計</b>			<b>863,052,920</b>
<b>差引：正味財産</b>			<b>2,451,689,530</b>

注)財産目録は、任意に作成したことから、公益会計基準(平成20年4月11日(平成21年10月16日改正)内閣府公益認定等委員会)」の様式に準拠していない。

独立監査人の監査報告書

令和5年5月24日

一般財団法人省エネルギーセンター  
会長 藤 洋作 殿

大串公認会計士事務所

東京都中央区  
公認会計士

大串 卓矢 

公認会計士岡田育大事務所

東京都港区  
公認会計士

岡田 育大 

監査意見

私たちは、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第124条第2項第1号の規定に基づく監査に準じて、一般財団法人省エネルギーセンターの令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度の貸借対照表、損益計算書（公益法人会計基準に基づく「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私たちは、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私たちの責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私たちは、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私たちの財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私たちはその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における私たちの責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は私たちが監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私たちは、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私たちが報告すべき事項はない。

#### 財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

#### 財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。
- ・財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

法人と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上



## 監査報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度における会計及び業務について監査した結果を、次のとおり報告します。

### 記

#### 1 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、決算関係書類及び会計監査人が作成した会計監査報告を精査し、関係書類の正確性を確認しました。
- (2) 業務監査について、理事会その他の会議への出席や関係書類の閲覧等によって、業務執行の妥当性を確認しました。

#### 2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、これらの附属明細書及び財産目録は、当財団の収支及び財産の状況を正確に示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書は、当財団の事業の状況を正確に示しているものと認めます。

令和5年5月29日

一般財団法人 省エネルギーセンター

監事

長谷川 裕夫



監事

齋藤 弘明



## 監査報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度における公益目的支出計画実施報告書について監査した結果を、次のとおり報告します。


### 記

公益目的支出計画の実施状況について、関係書類の閲覧や事業報告の聴取等によって確認しました。その結果、公益目的支出計画実施報告書は、当財団の公益目的支出計画の実施状況を正確に示しているものと認めます。

令和5年5月29日

一般財団法人 省エネルギーセンター

監事

長谷川 裕夫 

監事

齋藤 弘明 